

食育 だより

令和5年1月
西海市立平島学校給食共同調理場

あけましておめでとうございます。冬休みは楽しく過ごせましたか？年越しそばやおせちなど、日本の伝統的な食文化に触れる機会がたくさんあったのではないのでしょうか。正月料理には豊作や無病息災など、よい一年となるよう願いが込められています。ぜひ、この伝統文化を受け継いでいってほしいと思います。そして、今月は全国学校給食週間があります。それに合わせて、給食の歴史について紹介します。

1/24~1/30 全国学校給食週間 給食の歴史&献立の変遷



学校給食の起源は、明治22(1889)年にさかのぼります。山形県の大誓寺というお寺の中にあった小學校で、お弁当を持ってこれない子供たちに、昼食を無償で提供したことが始まりとされています。その後、全国へと広がりましたが、戦争による食料不足などの影響で中断されてしまいました。

戦争が終わっても食料不足は続き、子どもたちの栄養状態が心配されたことから、学校給食の再開を求める声が高まりました。アメリカのLARA(アジア救援公認団



給食用物資贈呈式

体)から贈られた物資を使い、昭和22(1947)年1月に給食が再開しました。

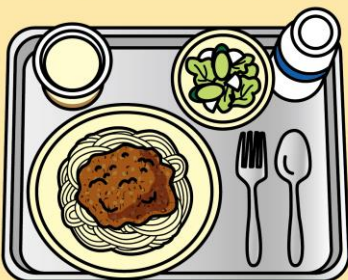


★昭和21(1946)年12月24日に物資の贈呈式が行われたことから、この日を「学校給食感謝の日」としましたが、冬休みと重なるため、昭和25(1950)年度からは1月24日~30日を「全国学校給食週間」とすることが定められました。

★昭和29(1954)年に「学校給食法」が成立し、学校給食の実施体制が法的に整い、教育活動として位置づけられるようになりました。



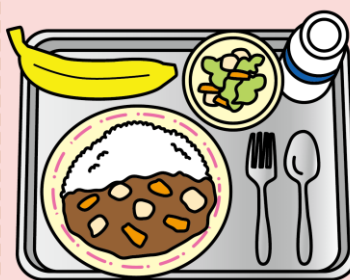
昭和40年代ごろの給食



パンの種類が増え、めん類も提供されるようになりました。脱脂粉乳のミルクは牛乳へと切り替わりました。

ミートスパゲッティ・牛乳・フレンチサラダ・プリン

昭和50年代ごろの給食



給食の主食はパンが中心でしたが、昭和51年に米飯が正式に導入され、献立の内容も豊かになっていきました。

カレーライス・牛乳・塩もみ・バナナ



時代の流れと共に変化を続ける「学校給食」ですが、いつの時代も、子供たちのことを大切に思う気持ちが詰まっています。そんな思いを感じながら、おいしくいただきます。